

外務省所管 令和元年度補正予算（第1号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧
（主にコンセプト・ノートに基づく暫定版）

（注意事項）

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第2位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 （暫定版）
南アジアを中心としたアジアにおけるテロ・暴力的過激主義対策支援	南アジアを中心としたアジアにおけるテロ・暴力的過激主義対策	国際連合薬物犯罪事務所 （UNODC） [合計：24.6億円]	テロ対策と組織犯罪対策の両分野を網羅的に所掌する唯一の国連機関として、その専門的知見を活用し、当局職員の捜査・訴追能力向上、テロ資金対策、海上保安対策等や刑務所の管理能力強化、脱過激化・社会再統合等を通じた、アジア地域におけるテロ対策及び暴力的過激主義能力向上及び暴力的過激主義対策の向上を図る。
		国際連合女性機関 （UNWomen） [合計：1.0億円]	ジェンダーに関する専門的知見を有する UNWomen を通じ、女性の脱過激化を支援するほか、テロ及び暴力的過激主義対策における女性の役割に焦点を当て、家族内での母親の役割強化に向けたセミナーの実施や SNS を通じた過激化の防止をすることにより、コミュニティの強靱性と社会的性と社会的団結を強化し、暴力的過激主義の脅威を減少させる。
		国際連合テロ対策事務所 （UNOCT） [合計：1.6億円]	国連のテロ対策戦略等を活用したオンライン上のテロリストの活動に対する捜査等に向けた国連加盟国の能力向上のほか、国連安保理決議2396号等に従い、国境におけるテロリスト等の活動の探知、予防、捜査及び訴追のための生体データの利用及び共有に向けた国連加盟国の能力向上を図る。
		国際連合教育科学文化機関 （UNESCO） [合計：0.4億円]	アジア地域においてイスラム教徒が多数派を占める国の学校教師を対象として、教育を通じた社会の寛容性・多様性確保に向けた教育カリキュラムの研究等を実施。本邦での学校訪問を含む訪日研修と各国での地域ワークショップを通じ、各国の宗教教育の多様化、教師の能力向上を図る。